■道の駅「海の京都　宮津」機能拡充事業の方向性に関する意見

No.	頁	項目名	意見の内容
1	4	本事業のテーマ・コンセプト	公共交通や自転車の利用を促進するとともに、駅やバス停、駐車場から、安全で分かりやすく歩ける道を整備することが考えられます。さらに、周辺の中心市街地や観光施設とつなぎ、徒歩や自転車で周辺を回遊できる環境を整えることや、分かりやすい案内表示を整備することも重要と考えます。
2	4	本事業のテーマ・コンセプト	今後の検討課題として「駐車場機能の強化」が挙げられていますが、来訪者の車が特定の駐車場や周辺道路に集中すると、渋滞が発生したり、地域住民が利用する生活道路に車が流れ込んだりすることも懸念されます。 本事業を進める前に、周辺道路の交通量や渋滞、駐車場の利用状況、生活道路への車の流入などについて、事前に交通シミュレーションや検証をご検討ください。
3	6	想定される施設規模	飲食施設約400㎡は現状の約2倍にあたる。冬季の需要変動と当地域の人材確保状況を踏まえると、独立採算での運営には相応のリスクを伴う。直売所も含め、面積は下限として固定せず、幅をもって示していただきたい。あわせて、面積ではなく売上・地域調達額・雇用等の成果指標で水準を設定する方法も検討されたい。
4	7	配置レイアウトの方向性	近年の熱さに対する対策として芝生地に東屋や屋根付きスペースを設置して日中でも外で過ごせる整備を検討してはいかがでしょうか。
5	7	配置レイアウトの方向性	魅力ある施設づくりのため、海が見える海沿いの公園エリアでの建物計画の可能性を残して頂くべきであると考えます。
6	7	配置レイアウトの方向性	芝生は既存のまま維持となっているが、公園の魅力向上、来園者の滞在時間を伸ばすためにも、特定公園施設として遊具の整備を検討してはいかがでしょうか。
7	7,8	配置レイアウトの方向性	基本レイアウトは参考案として位置づけ、階数を条件として固定せず、回遊性・買い回りバリアフリー動線等の性能要求で示していただきたい。既存施設の解体可否と工事フェーズ計画の自由度が、提案の質を左右する。
8	9	参加資格要件（実績要件）	建設業務の実績要件は、本事業の規模に見合った水準としていただきたい。上記の先行事例では、共同企業体の代表者以外の構成員を市内業者に限定する要件が置かれている。本事業においても、地元建設事業者が共同企業体の構成員として参画できる設定を求める。
9	9	参加資格要件（実績要件）	地域産品の調達、地域雇用の創出、地域事業者・生産者との連携を、事業者選定の評価項目として明示的に配点していただきたい。道の駅の地域振興機能は、施設規模や整備水準ではなく、地域内での取引と雇用の実態によって測られるべきものと考える。
10	9	収益還元条件	納付金は営業利益ベース、または売上の一定率で上限を設ける設計としていただきたい。15年間の独立採算かつ物価上昇局面において、過度な納付金競争は運営品質と地域調達を毀損する。
11	10	営業時間	夜間営業を必須としない方針に賛同する。加えて、営業時間に加え営業日についても施設ごとの設定を認め、季節・曜日による変動営業を可能としていただきたい。

■道の駅「海の京都　宮津」機能拡充事業の方向性に関する意見

No.	頁	項目名	意見の内容
12	10	直売所の運営方法	運営方法を民間事業者の提案に委ねる方針に賛同する。一方で要求水準（素案）では品揃えの確保が求められており、これは出荷者の確保を前提とする。既存出荷者の継続参画への配慮を要求水準に明記されたい。
13	11	民間事業者に求める要求水準（素案）	商品開発、レシピ募集（コンテスト）、試食会等のイベント企画・運営は、最低水準ではなく提案項目としていただきたい。民間事業者の差別化領域として自由度を確保する方が、より良い提案が集まると考える。